

協会だより



公益財団法人福島県区画整理協会

発行人 / 遠藤 光一

「安全・安心、コミュニティのまちづくり」

理事長 遠藤 光一



現地調査で被災状況を目の当たりにした。津波そして原発事故、逃げ惑い追われふるさとに戻れない未だ渦中にある東日本大震災。一気に家屋が潰れた熊本断層型地震。強風の飛び火で町が消失した糸魚川火災。それぞれ被災規模は異なるものの、自然の脅威と人間の無力さに立ちすくんだ。

昨年、休暇を利用してスイスに旅行した。4,000mを優に超えるアルプスの雄大な山々、万年雪の白さと紺碧の空のコントラストに言葉を失った。しかし地球温暖化は氷河を毎年後退させ、150年後には消滅するという。観光地のエネルギーは徹底して化石燃料を排除し、国全体でも60%が水力発電という地域資源を活かしている。

地震列島日本。その造山運動による恩恵は、美しい景観、清冽な水、豊かな食、温泉等々枚挙にいとまが無い。一方、地震津波、豪雨等の自然災害への畏怖、この表裏一体の中で人は土木技術を駆使し生きてきた。特に我が県は4つの一級水系、浜通りの二級水系の源流県であり豪雨の影響を受けやすく地球温暖化は災害規模を大きくしている。100%の安全安心はあり得ないが様々な造成・建築技術により安全度は上げることは出来る。

糸魚川大火で147世帯が焼け出されたが死者はゼロである。消火活動の「公助」が限界の中で、地域のコミュニティの「共助」、各個人の避難対応の「自助」が被害を最小限にしたまさに「減災」の例示である。

当協会ではこれまで機能的かつ安全安心の街の基盤を造成設計してきたが、少子高齢社会の中で、心が和むコミュニティのまちづくり、即ち「緑豊かな向う三軒両隣のまち」がこれからのコンセプトになるものと疑わない。そのモデルとして復興公営住宅のいわきの小川駅周辺と郡山の岩作、三春の平沢地区で入居が始まった。「造る」から「育てる」まちづくりへの進化が時代の要請であると思う。



小川地区



岩作地区



平沢地区

「これまでの協会が果たして来た役割」

本県の都市計画区域は、県土の約 25%を占め、うち市街化区域は約 28,000ha となっております。

当財団は、連合会の時代から約 60 年、県内市町村のまちづくりを担って参りました。県内の土地区画整理事業地区は、昨年度末で 246 地区・約 6,700ha におよび市街化区域の概ね約 24%にあたる整備面積となっております。また、人口増に伴う都市計画税は、主要都市で年間総額約 126 億円 の歳入増となり、安定的な財源となっております。

今後、本県のまちづくりもコンパクトで安全安心を基本とした整備が当財団に課せられた命題として重く受け止め、公益事業に邁進していきたいと考えます。

(磯貝)



「これからのまちづくりと区画整理 !?」

間もなく到来する急激な人口減少と異次元の高齢化時代において、国民の安全・安心を確保し、社会経済の活力を維持・増進していくには『コンパクトシティ・プラス・ネットワーク』の都市構造が不可欠との認識から、都市再生特別措置法が改正され立地適正化計画制度が創設されました。

区画整理は、従来の人口増に対応する新市街地・住宅地を作る事業から、新しい都市構造への再構築(≒既成市街地の再生)を実現する手法として活用が広がってまいります。

小規模・短期間・民間主導の事業展開などの柔軟な区画整理や、適度な規模による複数連鎖的な事業展開などの手法は、県内市町村の今後のまちづくりにも有効な手法ではないでしょうか。

(具体例：敷地整序型区画整理、公共減歩を行わない区画整理、沿道整備街路事業等々) (佐藤)

「まちづくり相談室を開設しました！！」

『コンパクトシティ・プラス・ネットワーク』に象徴される新しい

まちづくりが求められる中で、各種まちづくり計画の策定や改定、付随して必要となる広域調整など、自治体の連携強化や職員のスキルアップがますます重要になっています。

協会幹事の皆様からも「協議調整・交流・学びの場」が必要とのご意見をいただきました。

協会では、こうした役割を担い市町村の皆様のみまちづくりを支援する目的で、今般、「まちづくり相談室」を開設しました。各種講習会や交流会等の企画とともに困り事の身近な相談窓口として協会職員一同誠心誠意取り組んでまいりますので、気軽にご活用ください！！

(佐藤)



「編集後記」

今年の桜の開花はいつ頃になるのでしょうか…昨年は、例年よりも雪が少なく暖冬だったせいか、3月31日に郡山市公会堂近くの桜が開花しました。だんだんと蕾も膨らみ、枝の先がうっすらとピンク色に染まり、桜が咲くのを待っている時期は、なぜかワクワクしますねえ。

ワクワクといえば、新入生でしょうか。希望を胸にドキドキもプラスされて、目がキラキラしていますよね(^_^)いろいろなことに挑戦をして、どんどん輝いてほしいですね！(南口)



発行 / (公財) 福島県区画整理協会

〒963-8014

郡山市虎丸町6番16号

あいおいニッセイ同和損保郡山第一ビル

TEL : 024-921-5000/921-5027

FAX : 024-921-8383

URL : <http://www.fukushima-kukaku.or.jp>